

令和5年度第4回調布市地域福祉推進会議 議事録

令和5年8月24日（木） 午後6時半から
調布市文化会館たづくり10階 1002学習室

【出席者】

- 1 出席委員：18人（web出席を含む）（欠席2人）
- 2 事務局・関係部署出席：福祉健康部（福祉総務課，生活福祉課，介護保険担当，
障害福祉課，健康推進課，子ども発達センター）
子ども生活部（児童青少年課）
- 3 傍聴者：0人

【議事次第】

- 1 次期地域福祉計画の骨子案について
- 2 その他事務連絡

【配布資料】

- 資料1・・・・次期計画の新構成一覧
- 資料2・・・・調布市地域福祉計画（骨子案（新構成））

開会

○会長 皆さん、こんばんは。夕方になると風はあって少し涼しいですね。昼間はここに来るのも大変だなと思っていたんですが。それでは早速、議事に入りたいと思います。初めに議事1の次期地域福祉計画の骨子案について、事務局から説明をお願いします。

議題1 次期地域福祉計画の骨子案について

○事務局（市） 今日の議事1は骨子案について説明させていただくのですが、修正した骨子案の説明に先立ちまして前回の会議で皆様からいただきました意見を参考にして変更した点のポイントを先にお話をさせていただきます。前回の会議では地域資源の活用について、市内にいろいろな種類の活動があることやいい取組をしている団体が多数あるということで、皆様からそれらについても取り上げてほしい。取り上げることによっていろんなきっかけを作っていってほしいという意見を多くいただきました。それから、地域福祉に関する活動について住民同士の支え合いを強く強調してしまうことに対する懸念や、地域福祉に関する活動を行政主導で「やりましょう」という形に捉えられがちだということについても幾つかご意見をいただきました。

それらの意見を踏まえまして、前回から今回の骨子につきましては変更させていただいていまして、本計画の中で地域福祉についてのいろいろな活動をコラムで採り上げることにしました。内容や採り上げる活動団体については、まだ検討段階ですが、後程改めて説明をします通り、コラムのスペースを設けまして、市内にこんなに素晴らしい取組があるということに掲載することにより、いい取組を紹介できるほか、地域福祉の内容をわかりやすく伝えることや、活動をしたいと思っている人達のきっかけになる取組をご紹介できればと思っています。活動団体の数を紹介するだけでは、地域福祉の内容を知っていただくことが難し

いと思っておりますし、また数が増えることよりもその内容や質が重要であるという点からこちらを紹介していきたいと考えています。一方で統計としてどのように載せるかについても同時に考える必要があります。前回も申し上げましたが、地域の資源については、登録しているかどうかやなんらかの補助金をもらっているかどうかという点や、それから地域の中で小さく自主的に活動している団体など、さまざま大きさも含めてありますことから、計画の中でそれらを全て数字化するのはなかなか難しいと考えています。ですので、後ほど説明しますが、資料編に数字を載せている部分については、あわせて今後もどのような載せ方をするか検討していきたいと考えております。それでは、詳細について説明をお願いいたします。

○事務局（委託事業者） 私から骨子案についてご説明いたします。資料の1番と資料の2番がございます。先ず資料の1番をご覧くださいませ。A4横になっている2枚綴りのものです。これはご覧になっていただくと分かっていただけたと思いますが、構成を一覧にしたものです。目次とほぼ一緒です。めくっていただくと、それぞれの項目についてどういうことが書いてあるかの概要を2ページ、3ページでお示ししています。これは全体像を一覧でわかるようなものとして補助的にお作りしたものです。必要に応じて適宜ご覧いただければと思います。また後程、計画書をご説明する際にも少し使わせていただきます。

資料1の説明は以上にして、資料2 骨子案の新構成をご説明いたします。少し厚い冊子になります。資料2をお手元にご用意ください。資料は一昨日から昨日にかけてお配りできたということでございます。とは言え前日ということで大変申し訳ありませんでした。少しは見えていただけたと思いますので、省略する所は省略していきたいと思っております。

それでは、資料2の表紙をめくっていただきまして、先ず前回の骨子案から今回新しい構成にいたしましたので、どういう風に変えたのかを表で示しました。先程事務局のご説明にもありましたが、前回ご意見をいただいたなかで「前段がかなり長い」、「本題に入る前にちょっと大変だ」というご意見が多々ございましたので、その辺りも含めて新しい構成にしてみました。この構成でどうかというご検討をいただければと思います。上から行きます。左の上、前回先ず冒頭に「支えあう地域づくりを始めてみませんか」というページを設けていましたが、先程も話したように、コラム的なものを、適宜、計画書の中に掲載するというところで、このページは削除しようと考えております。続いて、前回第1章、第3章で地域福祉とはなんぞや、計画とはなんぞや、というものを載せておりましたが、それは今回の第1章にまとめてしまおうと考えております。続いて前回の第2章、調布市の福祉の共通事項。将来像ですとか、基本理念を入れたものでございますが、これを今回は第3章に、少し後ろの方に持って行こうということでございます。左の方、3章は1章に先程統合したと申し上げました。続いて第4章 調布市の現状と課題を前回載せておりましたが、それを今回は第2章に、少し前の方に持って行こうということで構成をしております。それから前回の5章以降の並びは同じです。ただし、今回は1章と3章を統合して1章分減った関係で、章の番号を変えたということでございます。もうひとつ資料編。前はタイトルしかございませんでしたが、今回は、前段にあったいろんなデータとか、グラフ、アンケートとか、そういった情報に関するもののうち、必要なもの、主なものは前段に残し、それ以外のは資料編に納めた、そういう立てつけになっております。今回、右側を整理しますと、1章で計画の策定にあたってでは、地域福祉とは何、計画策定の目的、期間、背景、そういったものを1章で

まとめました。2章に現状と課題として、統計データで代表的なもの、計画の振り返り、これからの課題をまとめました。3章で将来像、4章でこれからの取組、という流れに今回変えてご提案させていただいております。

それでは内容の要点をご説明いたします。1ページになります。第1章 計画の策定にあたってという章でございます。先程申し上げました地域福祉とは。それから計画の目的を掲載したものでございます。項目はそういうことですが、前回の内容を少し削ぎ落した部分。残すものは残して、資料編に持って行くものは資料編に持って行き、かつ少し要約をするというようなことで、なるべくコンパクトに収めたということでございます。1ページ目。地域福祉とはこういうことですよという簡単な説明。

2ページ目に、これは前回もありましたけれども、自助・互助・公助・共助の図でございます。例えばこの2ページの図、イラストが幾つか入っておりますが、今後の話ですが、例えばここに市内で行われている活動の写真が入って来るとなおいかなと思っております。この辺りは編集の段階で調整していきたいと思っております。

続いて3ページ。2番に計画策定の背景というタイトルで(1)国の動向。4ページにいただいて、(2)東京都の動向。ページにいただいて、(3)調布市の動向。背景をこの国と東京都、調布市でまとめました。かつ5ページから調布市の動向、前回も内容的にはこのようなことが入っていたのですが、前回はずっと文章が続いていましたので、それを年表的な見せ方にして、わかりやすくしたつもりでございます。7ページまでそれが続きます。ページによっては、余白ができる場所もございますので、余白には、必要なところには適宜、写真や必要に応じてコラムというものを編集で入れていきたいと考えております。

続いて8ページ、計画の目的。その下、計画の位置づけ。位置づけは8ページ、9ページになります。この辺りは前回の資料にも同じものがございました。それから10ページ5番に計画の期間。これも前回と一緒です。それから11ページ。計画の策定。これも前回から変更ございません。第1章を11ページにまとめたという結果でございます。

こういった計画を作りますというのを第1章にしまして、現状と課題は何かと言うのを第2章、12ページからまとめました。12ページ1番、地域福祉の現状には統計データから主なものを掲載しました。12ページの人口で言えば、上のグラフにあるように今は増加してはいますが、近い将来減少に転じるということが想定されております。また、下の図は高齢化率が緩やかに上昇していることを示してございます。

続いて13ページ。これからの人口の推移。先程少し減るというお話をしましたが、その中で年齢の割合としては、やはり高齢化が進んで行くということが想定されております。

それから14ページ。世帯の状況です。世帯数自体は増加してはおります。一方で一世帯当たりの人数は段々減っていく。よく「核家族化」、「家庭の小規模化」という言い方をしますが、そういう傾向にあるということでございます。それからその下、高齢者の一人暮らしも増えているという状況をグラフをお示ししております。

続いて15ページ。要支援、要介護認定者の人数。その下は、障害者手帳所持者の人数をグラフで掲載してございます。これ以外のグラフ或いはデータに関しましては、資料編に掲載する予定でございます。

続きまして16ページから第2章の2番。現行計画の振り返り。今回はタイトルだけございまして、中身がございませんでした。今回その中身を加えております。16ページ。現行計画の振り返りです。平成30年度から5年度はまだ途中ですけれども、その間に取り組んだ事業

が主にどのような成果があったり、どのような課題がそこから出て来たかというものをまとめたものでございます。なお、その内容につきましては、現在もまだ精査中でございますので、今後若干変わる予定がございますので、その旨ご承知おきください。16 ページは、現行計画の目標の1番についてまとめました。目標の1番は地域福祉を担う人づくり、ボランティア活動の支援という内容になります。そこの主な取組は、計画で大きく3つに取り組んで参りました。その下、主な成果ということで幾つかお示ししました。書こうとすると事業ごとに全部あるんですけども、紙面の都合がありますので、その中から主な成果を抽出したものでございます、例えば、一番上だけ読ませていただきますが、主な成果として、「市民が福祉を学ぶ生涯学習出前講座にインターネット申請を導入した。コロナ禍から再開後の利用者増加につながった」ということが成果として記載してございます。その他にも幾つかあります。続いて、その下に主な課題。成果もあれば課題もありますので、主な課題は何かというところ。ここでは、「ボランティアコーナーが設置されているが、さらに相談活動拠点となるように各地区で工夫していく必要が今後もある」ということを主な課題としております。右側の17 ページには、先程申しました活動事例の関連するコラムなどを今後入れていって、紹介なり、事例提供を考えております。

続いて18 ページをご覧ください。ここは目標の2番。ふれあい、生きがい、支え合いの地域づくりに関する振り返りです。構成は先程と同じです。最初に主な取組を表にしております。その下、主な成果。一番上に書いてございますのが、「地区協議会毎の担当者配置のほか、3年度に地区協議会同士の緊急時連絡会を構築した」などを成果としてお示ししております。

続いて右側の19 ページに主な課題が載っております。一番上、「いつでも誰でも利用できる居場所に対するニーズが高まっているので、応える必要がある」ということが主な課題の一つ目に書いています。またここにもコラムなどを掲載したいと思っております。

続いて、基本目標3 地域づくりの輪を広げるネットワークづくりの振り返りです。20 ページになります。主な活動の成果の1番としては、「市と市民活動支援センターが協働で地域人材養成講座を継続した。令和4年度は調布まち活フェスタを4年振りに開催した」ということを書いてあります。主な課題では「養成した市民後見人が受任出来るケースは限られているため、後見受任以外の活動の場を広げる必要がある」ということでございます。その右側はコラムです。

22 ページ、23 ページになります。基本目標4 安全安心して生活できる環境づくり。主な取組で1 ページ使っております。かなり多岐に亘る部分ですので、少しボリュームがあります。そして23 ページにその主な成果がございまして、先ず、防犯・防災につきましては、一番上、「毎年度、防災市民組織の新規の数が増えている」というのが成果であります。また相談支援に関しましては「医師会・歯科医師会・薬剤師会。関係部署と連携によって、新しい事業を実施した」ということを書いてございます。主な課題の一番上に書いたのは、「実際の発災時に計画・訓練通りに災害・避難対応ができるよう継続的な意識啓発、それからの連携が必要だ」ということが書いてございます。

続いて24 ページ。25 ページは、前回計画に重点施策が3つありましたので、それについて書いてございます。先ず重点施策1。主な取組がありまして、その下、主な成果。市全体の体制としては、1番上、「見守りネットワークの協定団体が毎年度増加している」という点は主な成果であろうということです。それから高齢者支援につきましては、「地域包括支援センターが8圏域に設置した」ということがあります。続いて25 ページ。子育て支援につつまし

ては、「元年の 10 月から妊婦の方に対する支援をするために、健康増進課，子育て家庭支援センターすこやか の 2 か所に集約して機能強化を図った」などを挙げています。次に障害者支援は「基幹相談支援センター，市内 3 か所の事業所，こころの健康支援センターを中心として相談支援体制を継続して，かつそれぞれの機関のスキルアップを図った」ということでございます。

生活・教育支援に関しましては、「生活困窮者自立支援としまして，平成 31 年 4 月から，調布ライフサポートで就労準備支援事業，家計改善支援事業，新しい事業を開始した」ことなどを入れてあります。主な課題といたしまして，「重点的支援体制整備事業への移行に伴いまして，従来の取組を踏まえて，相談支援・参加支援・地域づくりに向けた各取組を推進していく必要がある」ということを主な課題としております。

26 ページ。重点施策 2 の振り返りになります。住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制を作るというものです。主な取組，主な成果。主な成果の一番上には，「地域支え合い推進委員，コーディネーターの増員を進め，今年の 10 月から」。10 月からなので，まだですけど，これは来年 3 月の想定で作っておりますので，「8 つの福祉圏域に 1 名ずつの配置が完了した」としてあります。主な課題としては，前回の会議でもご意見があったかと思いますが，「人生 100 年時代を見据え，地域デビュー講座がより幅広い世代に役立つよう工夫する必要がある」。高齢者の方がもっと活躍できるまちづくりをということを事業からも課題として挙げられておりました。このような振り返りでまとめてあります。主な成果と主な課題が一對一になっていないという点はございますので，その辺りはご了承いただければと思います。ここまでが振り返りです。

すみません。ひとつ言い忘れました。重点施策 3 つあると申し上げましたが，今ここまでは，2 つだけです。重点施策 3 つ目は災害対策，防災の話なんですけれども，それは基本目標の中にあわせて入れ込んでありますので，そのこの部分は，内容的には入れましたが，ページとしては設けていないということで整理させていただきました。説明が不足しておりました。

では，27 ページ。地域福祉の課題ということでとりまとめたものです。課題は大きく 4 つにまとめてございます。先程の目標，或いは重点施策を 4 つにまとめたにご理解ください。では，27 ページ，課題 1「本人のニーズを踏まえた支援体制の整備を図る，身近な居場所の充実，社会参加への支援を進める必要がある」という課題です。この課題は，どういうところから来ているのかというところが，その下のところ。市の現状というのは，先程振り返りのところで書いたものから，主なものをここに記載しました。そうした現状があって，では今度どういうことが想定されるのかということが，今後の見通しとして簡単に書いております。27 ページで言えば，先程データでもありました，人口の動向や社会情勢がありますので，例えば，今後高齢者が増える，それに伴って「フレイル予防」が必要になるだろう。或いは孤立状態からの社会参加や職業的な自立支援が必要になるだろう。地域生活を希望する障害者，或いはひとり暮らしの高齢者が増加するという想定がありますので，それに伴う住まいの確保，生活の支援。或いは高齢の介護者。介護者も高齢化しますので，高齢の介護者や本人が意識をしていないヤングケアラーと言われる方々の支援など，求められるニーズは今以上に複雑化，複合化，或いは増加することが想定されるという見通しをまとめています。それからその下，市民の声としまして，前回も掲載しておりましたが，市民ニーズ調査と住民懇談会から出された意見，或いは結果から課題をまとめましたので，関連する課題をここに記載してございます。こういった市の現状，今後の見通し，市民の声というものがこういう

内容であるから、一番上の課題にこういう内容でまとめた。そう見ていただければと思います。この辺りはまだまだ議論するところがあるかと思いますが、内容をここから説明することは省略させていただきます。

ページだけご紹介します。28 ページに課題 2 番「多様性を認め合い、互いに尊重する意識の向上を世代や分野を超えた取組等を基盤にとともに生きる地域をつくる必要があろう」ということ。29 ページ、課題の 3 つ目といたしましては、「住民主体による地域福祉活動の多様な担い手を増やすこと。関係機関、行政と連携・協働する。それによって、見守り、支え合いの仕組みづくりを更に推進する必要がある」ということでございます。31 ページ、課題 4 つ目。「複雑化・複合化した課題を抱える世帯・個人を支援するため、包括的な支援体制を構築する必要がある」ということでございます。課題は割と大きめに設定しておりますので、こういった課題の中に入っていることを、具体的にこれから取り組んでいくのが計画になると考えております。ここまでが第 2 章現状と課題でまとめています。ここまでも 30 ページありますので、長いと言えは長いかもしれません。その辺り、またご意見いただければと思います。

続きましてここからが計画になります。第 3 章 調布市の福祉の共通事項です。福祉 3 計画に共通する背景といたしまして、大きいところでは 3 つあるだろうということで記載しました。32 ページ。地域共生社会というものが国の方針として掲げておりますので、そういうところを目指すということは、福祉 3 計画に共通するだろうということを書いています。

続いて 33 ページ。(2) パラハートちょうふ。これは市で進めていることですので、福祉 3 計画でも、このパラハートちょうふを共通に進めて行く必要があると考えています。(3) SDGs というものがあります。お聞きになったことも皆さんあろうかと思いますが。国連を中心に世界の国々がこういうことを取り組んで行こうという 17 の目標をまとめたものでございます。34 ページを見ていただくと、世界ではそういうことを考えていて、日本もそれに参加して進めているという状況、それから調布市も国と歩調を合わせて進めていくということでございます。ということで、調布市の計画である福祉 3 計画でもこの SDGs を念頭において進めていくことを想定しています。34 ページのこの 17 の目標につきましては、市の基本計画に、この分野はこういうことと連動して進めていきますということを設定しておりますので、それを表として掲載してございます。この辺りも 3 計画共通の背景として入れさせていただきました。

そういった背景があって、次の 35 ページに将来像、基本理念を設定しているということでございます。将来像・基本理念は、前回、皆さんで審議いただいた内容が入ってございます。それから 36 ページに、福祉圏域。福祉圏域は、現計画で 8 圏域にしようという方向になっておりまして、来年度からの計画もその方向で行こうということでございます。37 ページ、地域福祉を展開する際にその 8 圏域だけではなくて、もう少し小さい小学校区域の小圏域、それから市全体の大圏域。それぞれの役割がありますので、こういった役割、連携、機能分担をしながらというものを地域福祉で考えていることとございます。これまでもこの考え方でやってきましたので、今後もこの考え方でやっていくことを掲載してございます。ここまでが第 3 章。計画の方針という大きいところでございます。

具体的な取組が次の第 4 章になります。先ず 38 ページをご覧くださいと表があります。先程の 2 章で課題を 4 つにまとめたことと申し上げました。その課題が今回、第 3 章の基本理念に包含される、それぞれ結びついていくと考えてございます。そしてそれが基本目標のそれ

それにつながっていく。そういう考え方で計画を作っていこうというものでございまして、それをまとめた表として掲載しました。

続いて 39 ページでございまして。これは今の資料だけに入っているものでございまして、最終的にはこのページは削除されますが。40 ページ以降に掲載した事業は、まだ庁内各課とも調整出来ておりませんので暫定的に掲載したものでございまして。今後調整しながら、また検討していくということで、そのお断りでございまして。

40 ページから事業が載ってございまして。40 ページから 10 数ページご説明するんですが、それをページ毎に説明すると、ちょっとわかりづらいので、資料 1 の 3 ページをご覧ください。この 3 ページが第 4 章 基本方向の内容を極簡単にまとめたものでございまして。上からいくと基本目標は全部で 4 つ考えてございまして。それから重点施策は今のところ 2 つ考えてございまして。基本目標 4 つのうち 1 番。これは理念 1 を実践する内容を想定してございまして。基本目標 1 番は「安心した暮らしと社会とのつながりがもてる地域づくり」という表題にしまして、内容としてはその右側。概要のところ。介護予防や生活支援サービスの充実ほか、この様な内容を現在検討しているところでございまして。続いて、基本目標の 2。基本理念の 2 の実践を想定してございまして「地域共生社会の基盤となる地域福祉のネットワークづくり」。検討中の内容としては、多様な主体の連携・協働のしくみづくり。或いは権利擁護等になってございまして。基本目標 3 理念 3 の実践として、「住民が主体的に参加する支え合いの地域づくり」。人材の発掘・養成。ボランティア、地域交流や世代間交流などを検討してございまして。基本目標 4。理念 4 の実践として、「地域生活課題を解決するための包括的支援体制づくり」としてございまして。複合的な地域課題を解決するための体制づくりということで、ここは少し内容がまだ十分検討できておりませんが、重要なところでございまして、検討していく予定でございまして。

それから基本目標の中から重点的な施策をピックアップして 2 つにまとめたという立てつけになってございまして、一つは「地域におけるトータルケアの推進」です。現行計画でも重点 1 というものになってございまして。同じものですが、内容的に先程の課題を含めて、今後、充実させていこう、改善するものは改善していこうというものでございまして。コーディネート機能の強化、或いは制度外サービス・支援の充実などが重点の施策になります。この中に、右側に※で書いてございまして、地域におけるトータルケア、或いは重点的支援体制整備事業、成年後見制度の利用促進計画。こういったものを含めようと考えてございまして。

重点施策の 2 として、「住民主体の地域における支え合いの仕組づくり」。内容としては、住民主体の交流活動、或いはボランティア。防災についても、互助、共助の活性化という意味での防災力。そういった内容を重点として討している最中でございまして。第 4 章はまだ検討中ということでございまして、詳しい内容はお示しできておりませんが、こういう想定をしているということで、現時点でご提示させていただきました。

では、資料 2 に戻っていただいて、50 ページをお開きいただけますか。50 ページ、第 5 章になります。まだ中身が入っておりませんので、タイトルだけご紹介いたします。第 5 章 地域の状況（8つの福祉圏域）の状況を掲載する予定でございまして。第 6 章は計画の推進ということで、この計画をどうやって進めていくかを盛り込む予定でございまして。ここまでが本編ということになりまして、51 ページから資料編ということになります。前回の骨子案で前の方にボリューム的であったものをこちらに持ってきた部分も多々ございまして。51 ページですが、

調布市の地域福祉と国の主な動向の年表。それから 52 ページからは統計的なデータを掲載する予定でございます。

それから 61 ページからは、3 としてアンケートの主な結果などを掲載する予定でございます。最後に 79 ページになります。4 として計画の策定経過、この会議の要綱などを掲載する予定でございます。以上がこの骨子案の概略の説明でございました。

もう一つだけ付け加えさせてください。難しい言葉が計画には出てきますので、初めて言葉が出てくるところに注釈として付けていこうと考えてございます。用語の載せ方はいろいろあるんですけども、全部に載せていくとかなりのボリュームになってしまいますので、最初に出てくるところだけ掲載していこうと考えておりますので、またご意見があれば教えてください。長くなりましたが、私からの説明は以上です。ありがとうございました。

○会長 ありがとうございました。只今、事務局から説明をいただきましたが、これまで話し合われてきた計画の骨子案についても、いろんなご意見、或いは庁内など連絡会の検討、そういったことを踏まえたということです。まだこれから検討はされる中身になることもご報告いただきましたので、そんな中から確認したいこと、質問、或いはご意見などございましたら、ご発言いただきたいと思っております。

○委員 説明を受けまして、今までに比べて楽しく読めるものになるんじゃないかと期待しております。ありがとうございます。これだけ大きな計画なので、親しみやすく、またわかりやすくというのが一番大きな観点かなと思っております。いただいた資料をそんな観点から読ませていただきましたので思ったところをお話します。だいたい私のこれからの話の内容は取り入れてもらえるもんだと思っておりますので、私の方からの一方的な話になると思っておりますが、全部読み上げます。

先ず最初に、これはまだ骨子案なんですけれども、現行の計画書を見ますと表紙のところに楽しいイラストがあったり、或いは市長さんの挨拶の続きに市民への呼び掛け、挨拶とか、凄くわかりやすい形のもの載っております。これは親しみやすさという大きな効果があると思っております。これを見た時にちょっと手にとってみようかなと思えるような、そういう効果があるので、是非今回も取り入れていただきたいと思っております。

2 つ目は、グラフの凡例ですけれども、大きさが大小ありますけれども、小さい物は、はっきり言って私は模様の判別ができません。大きい方に統一していただきたいと思っております。

3 つ目。14 ページを見ていただきたいと思っております。世帯数の推移は 1 月 1 日現在、高齢者ひとり世帯は 4 月 1 日現在としていますが、グラフの元号表示が令和元年と平成 31 年と 2 種類あります。これ混乱すると思っております。元年に統一するのか、4 月までと 5 月以降と厳密に使い分けるのか、統一すべきです。

4 つ目。15 ページ。要支援・要介護認定者の状況と障害者手帳所持者の状況は記載内容が全く同じです。障害者手帳所持者の状況を正しい内容にして欲しい。要支援・要介護認定者の状況の資料が 2 つ記載してありますけれども、時点がそれぞれ違っているんですが、グラフのどれがどっちなのか説明を付けていただきたい。また、何故、令和 3 年度までなのでしょう。調布市の課題を見るにはせめて令和 4 年度まで表示すべきだと思います。

5 つ目。16 ページ。ここにボランティアコーナーという表現がありますがけれども、たぶん誰も知らないと思っております。みんな思っているのは市民活動支援コーナーだと思っております。

だから、ボランティアコーナー（市民活動支援コーナー）と表現していただいた方がわかりやすいと思います。

6 番目、18 ページ。(2) 生活支援コーディネート事業「ちょこっとさん」となっていますが、ちょこっとさんというのは誰が行っている事業なんでしょうか。それから生活支援コーディネート事業というのはちょこっとさんだけなんですか。そこら辺をもう少し丁寧に説明していただけると有難いと思います。それから下のところですが、主な成果のところ、「地区協議会毎の担当者配置のほか、・・・」となっていますけれども、どこに担当者を配置したのでしょうか。もし協働推進課ならば協働推進課と明記するべきではないでしょうか。

7 つ目、23 ページ。主な成果での「防犯・防災」です。防災事業で毎年度 4 月第 4 土曜日に実施している市内全部をあげて行っております避難所開設訓練。これは年々進化していること、或いは市民も大勢参加していることなど効果が大きい取組です。成果として入れるべきです。

40 ページ以降ですけれども。今頃で申し訳ないですけれども、基本目標と重点施策の違いはどのようなことでしょうか。またこの 2 つを決める意味は何でしょうか。そのところをやはり説明文を記載すべきではないかと思えます。

それから、次に 9 番目、56 ページ。「地域活動・資源の状況」の意味がわかりません。「地域活動の資源の状況」なら何となくわかるような気がしますが。因みに現行計画では、「主な地域活動資源の概要」として 15 種類を挙げて活動の概要を説明しているので、何を意味しているのかわかりやすいです。このような説明を新計画でも入れるべきではないかと思っています。それから「地区協議会」のところですが、補足説明を随分丁寧にに入れていたので、大変わかりやすくなってありがとうございました。ただ、考えるに地区協議会は、推移を令和 5 年度まで入れていただければ、現在 18 団体が活動しているわけです。今年 7 月に 18 番目が発足しましたので。令和 4 年度までですとずっと 17 団体で増えていない感じになりますが、実際は 20 学区のうち 18 学区で設立されており、ほぼ全域で活動しているので、市民に興味をもって事業に参加意欲を持ってほしい。特に自治会数が減少している中で、自治会のなくなったところの補完をする活動となっているので。こういったことをわかりやすくするために補足説明に次の様に追加してもらいたいです。読みますと「一つの自治会だけでは、対応が困難な課題や地域で協力しながら取り組む方が効果的、効率的な防災、防犯や環境美化、広報などを地域の皆さんで考えながら活動しています」というものを加えていただきたい。

次は 57 ページのボランティア情報登録団体及びボランティア保険加入者数なんですけれども、そもそも何なのだとすることを補足説明するべきだと思います。

次は 58 ページ、保育所・学童クラブの状況です。補足説明ですが、単に数字の推移だけならグラフを誰が見てもわかることです。ここに掲載している目的は何が要因で動きになっているのか、これまでの取組の結果がどう反映されていって今後の課題がどこにあるのかを表すためではないですか。待機や保留人数の増減は高層マンションの著しい増加と施設の新増設が主な要因です。こういったことを説明すべきではないですか。

59 ページの生活保護の状況ですけれども、確かに生活保護というのは昔に比べると凄く増えております。核家族化が進むにつれて、やはり地域の支え合いというのが都市部では難しい話です。生活保護という共助に頼っているのはわかりますけれども、ただ関連しまして、

貧困児童や個食児童に安心してみんなで楽しく食事や交流をして情緒を育む子ども食堂。こういう活動があるので、この生活保護の状況とあわせて子ども食堂の状況を掲載すべきだと思います。以上です。宜しくお願いします。

○会長 丁寧に見ていただいて、いろいろとご意見をいただきました。ありがとうございます。他にご意見、ご質問がございましたら、お願いします。

○委員 ドラフト段階ということですが、骨子案を見せていただいて凄いい力作だなと思いました。まだ途中の段階ではあるんですけどね。特に地域福祉の課題というものを随分整理して、それが基本目標とか重点施策に展開するという流れになっています。地域福祉の課題のところで、いろんな市民の声、ニーズ調査の結果を踏まえて適切にその点は盛り込まれているかなと私自身は感じました。これらを踏まえて具体的な基本計画、或いは重点施策の策定につなげていただきたいなということを希望しています。

地域福祉の課題で挙げた市民の声というのは結構いろいろあるんですけども、それをずっと読ませていただくと、ひとつの特徴としては障害者とか障害児へのさまざまな制度の必要性というものが一つの柱としてある。それともうひとつは高齢者の社会参加、生きがいづくり。これは人生 100 年時代ということ踏まえて、そちらの方もあわせて考えていくべきだろうと。その辺のポイントをこの場ではしっかり受け止めていただければと思います。

私自身は、会社をリタイアしてもう長いですけども、地域活動を始めて 7 年目に入っています。いろんなボランティア活動をしておりますけれども、その辺の活動も踏まえて、少しこの地域福祉計画に反映するという、すでに事務局の方にもご提出をさせていただいておりますけれども、手短かに 3 点だけお話しさせていただきたいと思います。

一つは、いろいろな課題を抱えた子どもとか若者、それを受け止める居場所というのが市内にありまして、私はそこでいろいろ子ども達の相談応じたり、学習の指導をしたりということで、その団体のお手伝いをずっとしてきています。今回のこの中にも入っておりますけれども、ヤングケアラーと言われる子達、お母さんがメンタルに障害を持っていて中学・高校時代にそのサポートをしている、要するにケアラーですね。ただし、お父さんがそういった声をちゃんと上げないで、その子どもがケアラーとしてかなり苦しい生活を送るという、それをその団体が支えるという事例もあるわけです。その青年は今、立派に海外で活躍しているんですけども、その団体は夜の食事の提供もするんですね。出来るだけその家庭環境を提供して、いわば里親的な環境を提供して居場所になっているというところがあります。そこは今、ボランティアとか食事の提供とか、そういうもの主体でやっています。市の補助というか、それもあるんですけども、もう少しそれを積極的に支援するようなこともあっていいのではないかと思います。それが 1 点目です。

2 点目は、地域福祉コーディネーターの皆さん。これは調布市の取組としては非常に、全国的にはユニークな取組で実績を上げられておりますし、私もいろいろ応援をしているつもりなんですけれども。これからの地域福祉コーディネーターは、当然、8 人でいろいろな地域の課題を全部解決するというのはできませんので、どちらかという地域にアウトリーチすることでいろいろな課題を実際に見る役割ですよね。つまり、それを見た上で、発見した上で、それを行政なり、いろいろなところでどうやって反映していくかということ、もう少し充実していけばいいのではないかと。そのためにもそういう問題を、市が行政として受け

止める仕組みというのをもう少し考えてもらったらいいのではないかと思います。いつも年度のおしまいで、事業評価を出させていただいていますけれども、あれを形式的なことではなくて、実際にコーディネーターの皆さんに詳しい話をさせていただいて、何が問題かということができたらこういう場で議論させていただくといいのではないかと思います。

最後、3点目です。健常な方々がたくさんおられるわけですが、そうした人たちへの声かけ、働きかけは市民活動支援センターの皆さんや市のいろいろな情報発信でご努力されていて、私はそれを高く評価しておりますし、敬意を表しております。そうした啓蒙活動というのも、意識の高い1割とかせいぜい2割の人には意味があるんですけども、それ以上のマジョリティーの方々への波及効果というのはなかなか進まない面があります。どちらかというところ、そういう対象者に向けて、福祉だけに限らず、地域のまちづくりという広い視点で参加をしてもらうためにどういう仕組みがあればいいのか、その辺を少し具体的に検討していただけるといいと思います。今日は生涯学習課の方は来られておりませんが、私自身は地域デビュー推進委員会というところに、これも6年ほどやってきました。これは生涯学習という面と、いろいろなシニアの皆さんに企画をして「地域デビューしよう」ということをいろんなイベントを通じてやっている組織なんです。そういったことを、高齢者支援室などを含めた形で市の横断的な取組としてやっていただくというのも必要なことではないかと思っています。講座やいろいろな知識の提供はもちろん必要なんですけれども、それだけだと次の一歩がなかなか進められないということがあります。そういう人達を具体的に一歩を踏み出すような仕組みですね。それはそう簡単ではないですけども、手間もかかるんですけども、そういう仕組みが考えられればいいかなと思います。新しいボランティアをやるというのは一人では出来ませんよね。やはり、仲間があって、じゃあこういうこともあるんだということで、仲間を作った上でそういうところに入って行くという手順になると思います。そういう仲間づくりをどうするかも考えるべき一つだと思いますので、宜しくお願いしたいと思います。以上です。

○会長 ありがとうございます。他に。はい、どうぞ。

○委員 12 ページの高齢化率の推移というところがありますが、これ、もう微増なのでこういう傾きになってしまうのかなと思うのですが、この人数の設定とパーセントの設定を少し変えたら、もうちょっと増えているのがパッと見た時にわかりやすいと思いました。

それと27ページと28ページですが、この市民福祉ニーズ調査のアンケート調査の方の欄に、高(1)とか高(4)とか、たぶんこれは後ろの資料とあわせているんだと思うのですが、この(1)とか(4)とかはあまり必要ないかなと思いました。

4章はこれからということなのでまだと思いますが、3章までのところと同じように、太字を使うとかしていただいた方が見やすいかなと思いました。

それと、他の会議でも申し上げたんですけども、1章から各章の見出しですね。このところに見出しを付けられますかねとお願いしたら「簡単ですよ」って言ってくださって、それが付いたら、見やすくなりましたので検討していただけたらと思います。

○会長 ありがとうございます。これから検討を具体的にしていくことになるんですが、短い発言で結構ですから、出来たらひと言ずつ、今日、お気づきの点、或いはこういうことが

大事ではないかと、今考えていらっしやることでも、是非、発言していただければと思います。

○委員 全部読みきれていないところがあるんですけども。今日報告を聞き、前回と比べると随分とわかりやすくなっているなど凄く嬉しく思っています。具体的に前回の骨子案の方では字面でというか、それが多かったですけども、字だけではなくて、いろいろな表を含めてされているので非常にわかりやすく見やすいというのは凄くありました。あわせて、目次立ても前回の骨子案から比べると体系的というか、整理されているなどという感想は持っています。

先程申しました表組と同時に、最後の方でいろんな項目と事業案と担当課が書いてあるのは非常にわかりやすくていいかなと思いました。いろいろ施策の事業はわかるんですが、どこが担当しているのかということが読んで考えるときに、「あっ、ここに行けばいろいろ連絡がとれる」という情報が市民に入ってくるので、これは非常にわかりやすい。今後いろんな人や市民が自分達が思ったことを市の行政につなげていく、市福祉行政全般が見えてくるといふ点では非常にご努力されていると思いますので、非常に私は良かったなと思っています。

中身についてはまだ十分整理されていないですけども。福祉 8 圏域の取組なんですけれども、計画されているけれどもその到達点というか、先程も前回も言いましたけれども、私ども社会福祉法人で 8 圏域の中で何かしなきゃいけないということがあるんですけど、なかなかそれが上手く展開出来ていない状況の中で、市としてもこの計画の中でも、福祉 8 圏域というのを明確にしたうえで、それをどう具体化するかについても、もう少し踏み込んだ中身があってもいいのかなと。それはもちろん法人の方としてもやっていかなければいけない取組ではあるんですけども、せっかくの 8 圏域の構想の具体化ということで、今考えられることでもう少し踏み込めたらいいかなと思っています。以上です。

○会長 ありがとうございます。

○委員 短く整理されていますので、見やすくて、今までにない目の休めがあるんですね。コラムとか絵があつたりで、かなり苦労されたんじゃないかと思うんです。ただちょっと思うことは、33 ページの SDG s のところは少し余白があるんでしたら、これをもう少し大きくしていただいたらわかりやすいと思いました。SDG s はこれから凄く大事な分野ですから、なるべく皆さんに周知できるようにしていただきたいと思います。

もう一つ、生活保護の件です。いろいろありますから、自分達も権利があるというのか。いただける権利があるよ。決して恥ずかしいものではないし、何か困った時には是非来てくださいみたいなことが、軽い言葉でもいいので、あつたらいいと思いました。以上です。

○会長 ありがとうございます。

○委員 私は子どもを中心な活動をしていますので、これを見た感じでは、やっぱり若者と子どもに対する福祉の対応が少ないという感じがします。例えば、子ども食堂だったり、そういった活動は徐々に増えてきています。そういった活動を入れることで、もっと必要ではあるので、そういった内容を課題として入れていくようなことがあるかなと。

それと、ボランティアとか活動内容がわりと片寄っている気がしました。例えば、私は点字の点訳のボランティアをしているんですけども、そういったことは、今、図書館でやっているの、福祉センターやそういったものの内容は入っていたり、それから調布の 8 圏域の内容は入っているのですが、それ以外でもあることはあります。あと子どものすこやかの中でもファミリーサポートだったりとか、そういったこともあるので、どこまで一冊の中に入れるべきなのか。私はこの内容がどこまでのどういう風に広がっていくのかまだわからないのですが、そういう感じがいたしました。

○委員 私もまだまとまっていないんですけども、先程もどなたかおっしゃっていたことですけれども、グラフの高齢化率推移とか世帯数の変化とか、ここら辺について、見る方にインパクトを与えるのであれば、時間軸をもう少し長くとった方がいいのではないかという気はします。5 年位の経過を見ているのであまり大きな見込みの変化というのはよくわかりません。実績とこれからの推計も含めて、ある程度、時間軸を長くとった方がインパクトがあるのかなと感じました。それから、非常によくまとまっていますけれども、お話を聞いていて、理念に留まっているというか。じゃあ、どうするの？というところがもう少し深まっていければなど感じています。

市民の福祉ニーズ調査から出てくる課題を拾ってくるというのは非常に大事だとは思いますが、これはそもそもな話になってしまいますが、もっとそれぞれの分野に関わっている専門職のニーズを拾うと、地域課題が深く見えて来るんじゃないかと思うんです。支援する・されるって変な言い方ですけども、支援される側の立場の方だけじゃなくて、それを支えて専門的にそこに従事している人達のニーズというのを、もう少しこれから探っていく必要があるのではないかと思います。以上です。

○会長 はい。ありがとうございました。

○委員 地域福祉に関して全てを網羅するというのは不可能で、優先順位に従って出来ているんだと思うんですが、例えば、40 ページの基本目標を見ても、いろんな問題点に合わせて事業を書かれていますけれども、例えばひきこもりの問題。ひきこもりの人達はなかなか家族を含めて声が上げられない。ひきこもりの人及びその家族に対する支援。それについて、民生委員・児童委員の活動というところが担うことになるのかと思うんですけども。ここだけに委ねられて他にももう少し具体的な取組があってもいいのではないかと。そういうのがないと、余計そういう人たちは声を上げられないと思います。また、不登校の子ども達の支援ですね。それは学校に変わるフリースクールとか、通信教育とか、そういうところも支援とか、そういうものはどうなっているのか。これも民生委員や児童委員の活動に委ねられているんでしょうけれども。私は民生委員や児童委員の活動についてあまりよくわかりません。目に触れることもないです。例えばこの 2 つの存在についてだけでも、どうやって支援されていくのか。どうやって声をかけていくのか。人数的にはそれほど多くないのか、凄く多いのかもよくわかりませんが、声を上げられない人が声を上げられるような道筋をこうゆう機会に示してあげることが重要ではないかと思っています。いろんな問題があると思いますが、たまたま思い付いたことを申し上げました。

○会長 はい。ありがとうございました。

○委員 皆さん、いろいろご意見あるようですけれども、私はそれぞれの方のご意見を聞いていてもっともだと思ったのは、やはり先程どなたかがお話されましたけれども、これだけの立派なものを作りあげても、それを受け取る市民の方がどれぐらいの感度をもって見ているか、理解しているかというところに、長年、疑問を持っています。それは、こちらの伝え方が悪いのか、それから意識が低いということが先ず考えられますけれども。それはあまり強制できるものではないかもわかりません。ただ現場を見ておきますと、どうもその辺がどこかで途切れている。先程あったように、それをどう伝え、それから仲間をボランティアをどれだけ増やしていくか。そういうものをたくさんやらない限りは、立派な物を作っても、ちょっと失礼かもしれませんが、絵にかいた餅的になっては役に立たなくなると思います。そういう面で今から先の運動・活動の中で我々現場でお手伝いしている人間も含めて、やはりそういう面の広げ方、それから人の集め方、いわゆる情報をたくさん集めなきゃいけない。今お話が合ったような問題ひとつ取りましても、なかなか情報が集まらない。コーディネーターの方にいろいろ聞いてみましても、今お困りになっているのはそこですね。隠す問題もあります。ありますけれども、それとなくご近所はわかるはずです。そういう話もなかなか表面見てつかまえないが、現実的にたくさんあるようです。ということは、やはり地元や地域でコーディネーターの手助けをする人がもっといなきゃいかんというわけです。私は若葉地区 5 地区の地域協議会にも参加しておりますけれども、はっきり言いまして、この間もある会で言いましたけれども、せっかく福祉、福祉と進めても働いているのに、それが市民にはちゃんと伝わってないよ。すなわち、我々ももっと仲立ちして、みんなに伝えなきゃいかん。それから仲間を集めなきゃいかん。それからもっと言いますと、ボランティアサイドも高齢化で目減りしていきます。それで若い人を集めようとしてみますと、ご覧の通り働き方が非常に変わってきましたね。ご夫婦で働かれる、若い方が働いている数は相当増えていますね。ということは児童館や何かが足りないで大騒ぎしたりするのにつながるんですけど。そういう点から言っても、ボランティアのなり手が非常に少ない。これも大きな問題だと思います。従って、今後はこれが出来上がりしましたら、如何にこれを市民に伝えていくかが大事なことでないかと実感しております。以上です。

○委員 大賛成。いい意見です。

○会長 ありがとうございます。

○委員 今回この骨子案の構成を変えた所が非常にわかりやすくて、よかったと思います。今後、第 5 章で地域の代表のところ、それぞれの福祉圏域のところをこれからまたいろいろやっていくところだと思うんですけども、やっぱりここは凄い大事なかなと思って、凄い興味を持つところだと思います。やっぱり住民が自分のところはどうかというところで興味を持つと思いますので、そこのところが出来たら見させていただいて、ご意見させていただければいいかなと思います。宜しくお願いします。

○会長 ありがとうございました。

○委員 前回より凄く見やすくなっていて、読み手の方も「読んでみよう」という気になるような感じを受けました。他の委員の方もおっしゃられていましたけれども、グラフのところですね。着実に高齢化が進んでいます、というところであったりとか、やはりその言葉に対してグラフを見てもあまりピンとこないような形が見受けられます。元データから引っ張ってきているので難しいかもしれないですけども、その差が少し目で見てわかるような図がいいのではないかなと思いました。あとは、ちょっと最初の方のご意見もありましたが、やはり近年、子ども食堂とか地域の方が活躍している場がかなり増えていますので、そういうところの数も出していいのかなと思いました。ありがとうございます。

○委員 はい。ありがとうございました。

○委員 骨子案の作成、ありがとうございます。私の立場としてはこの骨子案に対して肉付けをする立場に思いますので、この内容の中の部分部分をしっかり情報提供させていただけたらなと思っております。他の委員の方がおっしゃったとおりで、専門職という視点と、あと我々は地域の声を拾っている立場と両方の情報をしっかりここに載せていく協力をさせていただけたらと考えています。また、この計画が出来あがった後の推進の期間でも、我々の調布市社会福祉協議会も地域福祉活動計画の策定を同時期に進めておりまして、より地域の具体的な活動計画をたてております。現段階ですと、8圏域プラス全域に分けて9つの委員会と会議体に分かれて進めていて、今だいたい130人位が関りながら作成しています。そういったところも、地域活動を高めていくという点も連携、連動させながら、我々自身、社協の計画だけではなくて、この地域福祉計画というものをしっかり意識しながら、場合によってはこの冊子を持ちながらコーディネートしていくというところで、この計画を広めていくところを協力していきたいと思っております。皆さんの声がしっかり乗りつつ、これをしっかり使っていくという時にも使いやすい計画になっていくところに協力出来たらと考えております。

○会長 ありがとうございます。

○委員 オンラインで失礼いたします。皆さんから意見が沢山出たので、私も同じようになるんですけども。調布市は子どもが多いというのがひとつの特徴なので、福祉全てを網羅するのは難しいと思うんですけども、子ども食堂のことやファミリーサポートのことを入れるとより充実するんじゃないかなと思いました。以上です。

○会長 はい。ありがとうございました。

○委員 私も凄く見やすく、これから写真やコラムも入るということでもっと見やすくなるだろうなと思いました。皆さんが言っていたように、子ども関係をもう少し加えられるといいのかなと思いました。これから第4章を書かれるということですけども、目標の概要というところがどういう風になっていくのかなというところで、数も大事だと思うんですけども、何か質的に充実していくというのがわかるような形で、特徴が示されてまとめられて記載されていくといいのかなと思いました。以上になります。

○会長 はい。ありがとうございました。

○委員 私からも幾つかコメントをさせていただきます。私は前回いろいろな意見を申し上げたと記憶しておりますけれども、その意図をくみ取っていただいて、短期間にもかかわらず的確に修正をしていただいたことにまずは感謝をさせていただきたいと思います。例えば 38 ページで、私、前回、基本理念と基本目標が場所的に離れているということもあって、つながりがわかりにくいと申し上げたと思うんですけれども、それに回答していただいたかのように、とてもわかりやすい図を示していただいた。この図はこれまでの計画で浮き彫りになった課題も含めて、その延長線上として、今回どんなことに取組むんだということを本当にわかりやすく整理してくださっていて有難いなと思います。折角なので、個人的にはこれを 1 章に出してしまっ、課題 1 とか基本理念 1 という表の中にそれぞれが何ページに書いてあることなのかを書くと、ここから特定のところだけ読みたいという方がそのページに飛べるようにすると、より使い勝手がよくなるのかなと思ったので、ご検討いただけたらと思います。

あと、これで凄く整理されて、よく見ると基本目標 1 が重層的整備事業の社会参加。基本目標 2 を飛ばして、基本目標 3 が地域づくり、基本目標 4 が相談体制の包括化ということで、重層の内容と重なっている部分が大いのかと思います。そういったことを整理した上で、重点施策として重層があるんですとバーンと打ち出すと、別に国が旗を振っているからやるわけではなくて、調布市としてこれまでの取組の中で浮き彫りになったもの、そして今回の計画の中で重視するものが正に重層をツールとして活用することで実現するんだと。そういう整理が出来て非常にいいのかなと思いました。

それから 16 ページですけれども、現行計画の振り返りを丁寧にやっていたかと思えます。もし可能であればということで私の希望を申し上げますと、主な課題のところ、主な成果もそうですけど箇条書きになっていて、恐らく各課から挙げてきたものを並べている状況と思うんですけれども、それがちょっと改善の余地があるんじゃないかなと個人的には思っています。どういうことかといいますと、各課から挙げてきたものを並べるだけだと、要は縦割りそのものを反映しているような形になってしまっていると思います。計画 1 ページ目にも縦割りの弊害による制度の狭間を如何に克服していくかということが書いてあるにもかかわらず、ここが各課からの視点の課題しか挙げてこない、結局、制度の狭間がいつまでたっても埋まらないことになりかねない。そう考えますと、ここは総括をするようなコメントが必要なのかなと思っていて、恐らくそれが出来るのは福祉総務課さんしかいないと思うんですけれども。例えば、こういった成果があるんだけどもトータルで見るとこうした部分が空白地帯となっているとか、それこそ制度の狭間になっていると書くと、そこに書いた内容が各課に対するメッセージや気づきになる。この地域福祉計画の理念を庁内により確実に広げていくという意味でも、それが凄く意味のあるものになるのかなと思いました。ちょっと実現可能性も考慮した上で、最終的には問題を検討させていただきたいと思っています。是非ここで、縦割りを如何に改善していこうとしているのか、調布市の皆さんの意気込みみたいなものができると、凄くいい計画になると思いました。

あと 12 ページの現状と課題のところ、委員の皆さんからも既にいろいろな意見が出ていたかと思えますけれども、個人的には時系列で示してこういった変化があるんだということを見せる意味があるデータと、必ずしもそうでないデータがあると思います。この辺りのデ

一タの見せ方は工夫していただいて、現状の数字をバンと出して「こうなってます」という示した方がインパクトがあるデータもあると思います。何でもかんでも時系列の変化を追えばいいわけではないのかなと思いますので、その辺りを少し整理をしていただけると大変有難いと思いました。私からは以上です。

○会長 はい。ありがとうございました。

○副会長 お話を聞かせていただいて、全体として言うともバージョンアップされていて、わかりやすく、見やすくなってきつつあるなということで、これから更に修正というか、バージョンアップを図っていかれると思います。今の途中経過としては良くなっていると思います。その上でちょっとコメントをさせていただくと、西田先生がおっしゃっていた、この計画全体としての印象はやはり理念計画みたいな形、こういうことが望ましい、こういうことをやりますみたいなことが主に書かれているというところなんですね。私、最近、大河ドラマの「どうする家康」にハマってるんですけど、「どうする調布市」っていうのがあまり書かれていない。今、先生から縦割りの話もあったように複合的な問題にどうやって対応していくんですか、どうするんですか、という話あまり書かれていないので、この辺りのことをもう少し考えたらいんじゃないかなと。というか計画なので、こういう問題があって、こういう手順で解決していきます、ということを示さないで、ただ、これが望ましいですってというようなことは、いわゆる理念計画になっているということです。

そういう意味でいうと、計画の振り返りをキチンとすることと、それから専門用語ではベンチマークって言いますが、出来るだけ具体的に数字を挙げて「これがこういう風になりました」「この数字がこういう風に変化しました」とか、そういうものを見せなきゃいけない。それともう一つは、これは難しいのかもしれませんが、社協の活動計画とは違って行政計画なので予算がいくらついているのかとか。なかなか難しいとは思いますが、予算はいくらなんだ、ということもちゃんと載せておかないと。何もお金の話が出てなくてというのは、ちょっと行政の計画としてはどうなんだ。それで市民に「あれせい」「これせい」って話っていうのはどうなんだということになるので。行政計画なので「予算をちゃんとこれくらいです」ということを考える、というか掲載することも必要ではないかと思います。

それ以外に3つコメントすると、細かいことですが、やっぱり子ども食堂ですとか、子育て支援センターとか、何人かの方が言われていましたけど、子どもとか若者の分野がないですよね。計画としては子どもが入っているはずなのに、実際の記載の中にはそういう記載は少なく、やっぱり子ども分野とは距離があるというのを感じざるを得ないので、この辺りはもう少し考えていただきたいということです。

2番目。SDGsが出てくるのは凄くよくわかるんですが、唐突感が免れないというか、「だから何なんですか」という話で。それからページのところに番号がありますよね。地域福祉計画、障害者福祉計画、高齢者・・・、でそれぞれSDGsの番号が組み込まれているんですけども、じゃあ、なんでその番号になっているんですかっていう話が全然何処にも書いていないですね。だから「何なんだろうこれ」という感じ。確かにSDGsとの関連はありますけれども、書くならそういうところをちゃんと書いた方がいいと思いました。

それから先程、計画を作ってもどれくらい市民の人が知っているのか。知らなかったら「絵にかいた餅」ですねというコメントがありました。私は最後は「概要版」をきちっと作

って、しかるべきところに配布する。デジタルの時代ではあるんですけども、なかなかそういうものを見ない人達もたくさんいらっしゃるし、そういう意味でいうと、わかりやすい概要版を作って、いろいろなところに置いたり、配布したりして、出来るだけ周知を高めていく。その辺りのことが必要と思っています。これを策定して、ただ調布市ホームページに載せておいても、恐らくほとんどの人は見ないし、この計画、最初のページから最後のページまで読む市民の人って、ちょっと変わってますよね。

○委員 誰も読まないですよ。

○副会長 付箋つけてラインマーカーひいてという人はちょっと変わった人じゃないかと思えますよね。だから本当にわかりやすい概要版を作って、みんなに配布するとか、それをホームページに載せるとか、ちょっと工夫した方がいいのかなと。皆さん方が知って協力してくれないとこういう計画はうまくいかないの、そういう工夫は、これからになりますけど、必要と思いました。ちょっと長くなりました。以上です。

○会長 はい。ありがとうございます。前回の皆様方のご意見を踏まえて、今日委員の方からかなり整理がされたんじゃないかというお話があって、一人一人の方が、今、どういう問題意識でこれを見て、思っているのか、或いは、この計画づくりそのものについてのご意見をいろいろいただきました。これからそれをしっかり踏まえて、より良いものにしていくことになると思います。

○委員 今、意見いってもいいですか。

○会長 どうぞ。

○委員 今、ちょっと前にいい意見がありましたよね。「絵にかいた餅」じゃ。行政側から言ったら、市役所ではなく、社会福祉センター、それから各地域ごとに地域何とかってありますよね。そういう人達をもっといきいきと活動させた方がいい。地域でボランティアで活動している人はたくさんいるわけです。そういう方々と、福祉センターをもうちょっと活用して、その人達の話をよく聞きながら、この地域にはこういう子ども食堂があるとか、こうだとか、全部含めたものでこんなものがあります、ということ把握してもらおう。それで具体的になれば、予算を組むんでも何でも具体的にできるじゃないですか。私はもっと社会福祉協議会とか小学校とか、ちゃんとあるんですから。施設が先ずそこを活用する。具体的に話を吸い上げてもらう。そういう風にしてもらいたいと思います。以上です。

○会長 はい。ありがとうございます。課長、どうでしょう。今日の皆様方からのご意見をご踏まえて、今後こういう風に進めていくんだということは

○事務局（市） 本日は皆様から多岐に亘るさまざまなご意見ありがとうございました。非常に多くの意見をいただきましたので、総括的な内容になりますが、先ず、体裁の面で非常にわかりやすくなったということで安心しております。ただし、グラフの見出しの付け方。体

裁の問題もありますが、インパクトのあるものということもありますし、また、各ページに於いて、こういった形で構成した方が皆さんの理解が進むのかということもヒントをいただきましたので、そういったところも取り組ませていただきたいと思います。

また、理念計画ではなく、具体的なところで、子ども食堂であるとか、居場所のこととか、あと、アウトリーチとか、具体の事業も挙げていただきながら、こういった部分が変わえられるんじゃないかといったご意見もいただきました。また今回、この案を基に皆さんにイメージを持っていただくというところでお示しをしておりますので、これから行う事業を含めて、関係課とも調整をしながら整理をしていきたいと思っています。特に先生からいただきました重層的支援体制整備事業についても、今後の検討の中でお示し出来ればと思っています。

この計画が出来た後のお話も今日いただきました。概要版を作って市民の皆さんが見やすく、わかりやすくということも副会長からもいただきました。各活動をされている委員の皆様からは、市民の皆様がこの計画の内容を実践できるようにどう伝えていくのか、活動している人達がさらにこれから活動していこうとしている人達をどう巻き込んでいくのか。正にそういうところは地域福祉の大切なところでもありますので、これから計画策定の後半戦がありますので、具体的な内容をお示しする中で皆様と一緒にこの計画を作っていけるかと思っています。本日はどうもありがとうございました。

○会長 どうもありがとうございました。それでは、事務局から連絡事項がありましたらお願いいたします。

議題2 その他事務連絡

○事務局（市） 4点事務連絡がございます。本日、皆様の机の上に前回会議までの議事録を配布しております。3回分まとめた依頼となり大変恐縮ですが、ご発言いただいた内容等について、9月11日月曜日までにご確認いただきますようお願いいたします。本日の会議の議事録については、作成出来次第、郵送やメール等で確認のお願いをさせていただきますので、宜しくをお願いいたします。

次にご意見シートについてです。本日ご提示した骨子案についてご意見などございましたら、9月4日月曜日までにいただければと思います。

続いて、次回の日程についてです。お手元の開催通知をご確認ください。第5回地域福祉推進会議は9月29日金曜日に開催を予定しています。場所は本日と同じ、たづくり10階1002学習室です。対面形式でのご参加が難しい場合には9月25日月曜日までに事務局までお知らせください。本日の時点でオンライン参加のご希望はございますでしょうか。ありがとうございます。

最後にCSW評価シートについてです。今年4月に依頼をいたしました令和4年度地域福祉コーディネーター事業の評価シートについてご提出いただきました皆様ありがとうございます。いただいた評価シートは次回の会議の際に、地域福祉コーディネーター活動報告書とあわせて、評価報告書として皆様にお示ししたいと考えております。評価シートをご提出いただいていない方におかれましては、再度お願いのご連絡を文書やメール等でさせていただきますので、ご協力のほど宜しくお願いいたします。事務局からは以上です。

○会長 はい。今日、皆様方からご意見をいただきました。それを踏まえて、次はまたもう一歩前進した計画の検討が出来るのではないかと思います。それでは、これで終了します。ありがとうございました。